

当院における転倒転落患者の事例検証についての研究

1. 研究の対象

2022年4月から9月に当院に入院されていた65歳以上の患者さんで、入院中に転倒転落された方

2. 研究目的・方法

入院中は、病気や怪我などへの罹患に伴う身体機能の変化や生活リズムの変化、自宅などの普段の生活スペースとの変化などによって転倒転落が発生しやすい状況となります。近年の高齢社会に伴い、入院する患者さんも高齢化しており、病院に入院している時の転倒転落の発生件数は年々増加しています。そのため、転倒転落の発生予防や重症化の予防は非常に重要な問題です。転倒転落が発生してしまう要因はいくつかありますが、その要因の一つとして患者さんの状態を把握することがあります。患者さんの身体の状態を確認し、職員で共有するために、当院では入院時に評価を行いリスクの高い患者さんの選定を行い、リスクの高い患者と判断された方々には個人に合わせたケアや環境調整を実施しております。

しかし、高齢化が進み、今までと比較してさらに入院の原因になる怪我や病気にあわせて持病など合併症などが複雑に絡み合い要因が複雑化される中で転倒してしまう患者の特性は過去と比較して変化している可能性が考えられます。そのため、今回の研究では、入院した65歳以上の患者さんの中で、転倒転落されてしまった患者さんはどのような状況で転倒されているのか、環境はどうだったのかなどの検証を行い今後の転倒転落予防活動の反映に結びつけたいと考えています。

研究期間は、病院長許可日から2024年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

インシデント報告:発生時間、発生場所、病棟、年齢、発生状況 等
診療録:年齢、性別、身長、体重 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション科 鈴木亮馬